

LPガス充填所の整備、訓練の実施により、LPガス供給体制を確保する

【対策】69 LPガス充填所の災害対応能力強化対策

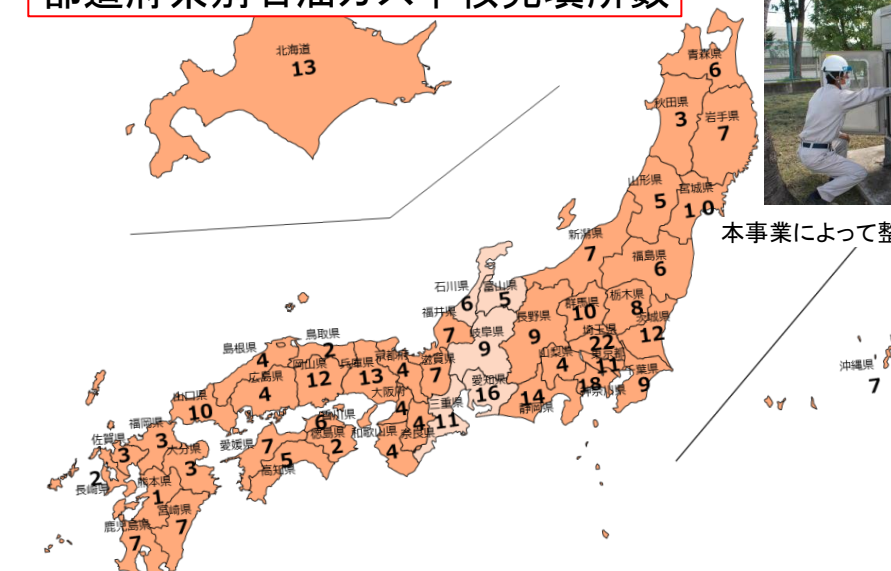
対策概要：自家発電設備や衛星電話等を備えた中核充填所の新設、既存の中核充填所の機能拡充（自家発電設備の嵩上げ、貯蔵容量の増加）を実施する。また、災害時石油ガス供給連携計画の訓練を実施する。

府省庁名：経済産業省

【事例】LPガス地域防災対応体制整備支援

- 実施主体：LPガス事業者
- 実施場所：全国
- 事業概要：LPガスは、全国の約4割の世帯で使用されている重要なエネルギー源である。長期保存が可能で、各戸に一定の備蓄があることから、災害の影響を受けにくい特性があるが、災害時でもLPガスの供給に支障を来さぬよう、全国の災害時にも稼働できる地域の中核となる充填所に対し自家発電設備、充填機、衛星通信設備等の設備設置を支援し、約340箇所整備した。また、全国を9地域に区分し、災害時石油ガス供給連携計画に基づく訓練を各地域毎年1回実施している。
- 事業費：8億円(内数)
- 効果：地震や大雨等の災害時においてもLPガスを安定的に供給することにより、**被災地の燃料不足を防止し、被災地の住民の生活や復旧・復興を支援する。**

都道府県別石油ガス中核充填所数



本事業によって整備した非常用発電機

中核充填所における訓練状況

